

品質企画研修

あるべき品質保証の姿を明確化し、自社の品質基準を決められるようになる

開催日時

2025年 6月27日(金)
2025年10月29日(水)

大阪会場

オンライン選択可

オンライン

各回とも 10:00~17:00

対 象

- 品質保証部門、設計部門
- 品質問題が減らないと感じている方
- 新製品開発プロジェクトリーダー
- 品質基準変更を考えている方

講 師

中西 正行 氏
(株)A&Mコンサルタント

参加料(税込)

法人会員：55,000円/1名
会 員 外：66,000円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ね ら い

製造業の多くの分野はレッドオーシャン化し、厳しい価格競争にさらされています。
企画部門は製品の訴求ポイントとし**高機能化(=部品点数増)**を要求する一方で
開発期間の短縮も同時に求めます。

設計部門は市場問題が出ない**最低限の品質基準**を独自に設定し、リスクを持った
まま出図せざるを得ず、品質問題による開発遅延に対して納期優先の判断がなされ、
品質確認が十分できないまま出荷され、市場で問題になる事態が発生しています。

そこで本セミナーでは、開発している自社製品の品質や設計品質に課題を抱える
品質保証技術者・設計者に対して以下の課題解決策を提供します。

- 設計品質を確保するための「設計プロセス」
①あるべき設計プロセス ②設計ツール(DR,DRBFM)
- 品質問題を減らすための「品質基準」の見直し方法
市場情報と社内試験データを基に以下を設定
①耐久性基準 ②冗長性基準 ③予防保全基準
- 横串を通した品質保証(組織体制と、各部門間の連携)

このような課題をお持ちの方におすすめです

- 対策を実施しても品質問題が減らないと感じている方
- 品質基準を変更しなければならないと考えている方
- 品質基準の作成方法を変えたいと考えている方
- 設計品質に課題を感じている方
- 市場品質改善のプロジェクトに参加される方
- 設計部門で市場問題対策において、新たな切り口を模索している方
- 設定された品質基準の根拠を明確にしたい方

■ プログラム

10:00~17:00 [昼食] 12:00~13:00

1 品質保証・品質管理とは

定義とあるべき姿の確認(ISO9001/JIS)

2 現状把握

- (1) 製造業で発生している品質問題(品質不良・品質不正)
- (2) 品質管理ツール(QC7つ道具、6σ)

3 攻めの品質保証

(品質企画:上流側での積極的な品質保証活動)

- (1) 適切な製品開発プロセスによる品質向上
 - 設計品質を確保する為の設計プロセス(企画・構想設計、詳細設計)
 - 設計品質を確保する為の設計ツール(仕様書・DR・DRBFM…など)

- 品質基準の決定方法
(市場品質情報、社内データ、B2B B2Cでの考え方)
①耐久性 ②冗長性 ③予防保全
- 品質保証体制:各部門の役割(品質保証部主体の全社活動)
- (2) 人材育成
(必要なスキルと知識の習得方法、会社としての方針)

4 演習

- (1) 品質不具合
- (2) 自身の会社の品質保証のあるべき姿と現状の整理

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

